

改善箇所説明図

対象車両外観



改善前



改善後



- 対象車は正規の積載荷重中心位置銘板に変更し、識別するため、銘板右上部に "R" を打刻する

【不具合の内容】

積載荷重中心位置の不備

【改善の内容】

積載荷重中心位置の変更と銘板の貼り替え

【識別方法】

積載荷重中心位置銘板右上部に"R"の刻印を打刻

・改善措置②

【改善の内容】

- ・最大積載量を確保するため、取付部品の軽減処置を行う。
- ・車両前方方向にウェイト等を取付し、重量配分を前側に移動し後軸の負荷を軽減する。

・架装型式KA752D-S、3トン車の例



・架装型式KA650D-S、3トン車の例



架装型式、車型および車両の使用状態により、下記内容から実施項目を決定する。

なお、部品変更を伴う為、実施にあたり個別にお客様に事前相談、ご了解を得た上で実施いたします。

No	実施内容
<1>	前輪前方のシャシフレーム下部にウェイト取付し、後軸荷重を軽減する。 (シャシによってウェイト重量は増減)
<2>	軽量化した後部扉と交換する。
<3>	軽量化により車両総重量7000kg以下になるため、大型バンパを取外しする。(3トン車のみ)
<4>	天井カバー(材質FRP、開閉用部品あり)を、シートに変更する。(KA650Dのみ)
<5>	点検用カバー(材質FRP、開閉用部品付き)を、一枚物の樹脂板に変更する。
<6>	点検用カバー(鉄製)を、一枚物の樹脂板に変更する。
<7>	投入口内部の押え板(飛散防止ゴム)を鉄製から樹脂製に変更する。(中型車以上)
<8>	軽量化したフレームカバーと交換する。(中型車以上)
<9>	飛散防止ゴムの厚みを変更する。(中型車以上)